

国宝・重要文化財の防火対策等について

今般、フランスパリのノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生し、世界的に貴重な文化遺産が焼損しました。このことについて、大変残念に思うとともに、フランス政府と国民の皆様に対し、謹んでお見舞いを申し上げます。

文化財は、火災等により滅失毀損すれば、再び回復することが不可能なかけがえのない国民全体の財産です。

また、我が国においても、昭和24年1月に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂で火災が発生し、貴重な壁画が焼損したことから、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、これを契機として翌昭和25年に文化財保護法が制定されたことを忘れてはいけません。

これまでも、関係各位におかれましては、文化財の防火対策等について各種取組の実施にご尽力いただき、文化財の適切な管理を図るため、格段のご努力をいただいていたところですが、改めてこれまで以上の防火対策等の徹底をお願いします。

文化庁としては、これに関連して、できるだけ速やかに、重要文化財建造物や重要文化財を保管する博物館等の防火対策等について、緊急に調査を依頼させていただきたいと思っております。また、改めて、防火対策の徹底等に当たっての留意事項等もお伝えしたいと思っております。

文化庁としましては、我が国の貴重な文化財の保護に万全を期してまいりますので、ご協力方よろしく申し上げます。

平成31年4月17日

文化庁長官

宮田亮平

点検票（世界文化遺産）

国宝・重要文化財（建造物）の基本的設備である下記の防災設備については、至急設置状況の回答をお願いします。

なお、消火器を除く消火設備については、確実に作動するか、是非、現地で確認をお願いします。

設備機能の停止又は不具合がある場合は、下記項目「4」に記載ください。

締め切り 4月24日（水）

【文化財名称（ ○○○○ 重要文化財建造物）】

1. 自動火災報知設備

ある

→法定点検の結果 （最終法定点検日： 平成 年 月 日）

問題あり

問題なし

なし

設置の必要なし

2. 消火設備

消火設備の設置について、設置されているものに☑を付け、今回の調査結果（問題の有無）をチェックしてください。義務化されている設備については、最終点検日も記載ください。

消火器

→法定点検の結果 （最終法定点検日： 平成 年 月 日）

問題あり

問題なし

消火栓

問題あり

問題なし

- 放水銃
 - 問題あり
 - 問題なし

- スプリンクラー
 - 問題あり
 - 問題なし

- ドレンチャー
 - 問題あり
 - 問題なし

- その他消火設備
()
- 設備なし

3. 避雷設備

- ある
- なし
- 設置の必要なし

4. 設備機能の停止又は不具合がある場合、下記へ詳細を記載ください。



緊急状況調査票(重要文化財(建造物))

本調査は、重要文化財(建造物)の防火・防犯状況の実態を把握することを目的として行うものですので、現状をそのままご回答ください。回答にあたっては該当する箇所に☑を付け、必要に応じて回答を記載してください。

特に消火器を除く消火設備については、確実に作動するか、是非、現地で確認をお願いします。

なお防火、防犯の観点より、個別の結果についての公表は行いません。何卒、御協力くださるようお願いいたします。

1 文化財名称 【 】

※ 回答は棟ごとにご記入ください。

2 質問事項

火災予防段階

I. 防火対策

1. 火災の危険性

①失火

(1) 建造物内部での火気の使用

建造物内部でろうそく、線香、かまど、囲炉裏、厨房設備や暖房設備等の火気を使用しますか。

- 使用する
 使用しない

(2) 消防法によるたき火、喫煙禁止区域の指定状況

建造物が所在する場所は、消防法によりたき火、喫煙禁止区域に指定されていますか。

- 区域内にある
 区域外にある

市町村長が火災の警戒上特に必要があると認める場合に、一定の区域内のたき火または喫煙を一定期間制限できることを規定しています。分からない場合は市町村の担当者に聞いてください。

②放火

(1) 建造物内部の開放状況

建造物内部はどのように開放していますか。

- 常時開放
 一時的開放(昼間或いは期間等を限定して)開放
 開放しない

内部の開放とは不特定の人が入り出りが可能である状況とします。常時とは24時間とし、儀式・行事などに限り使用する場合は「一時的開放」としてください。

(2) 建造物への接近状況

不特定の人が建造物へ接近できるかについて、お答えください。

「接近できない」の場合は、「接近できない」に☑のうえ、さらにその状況についても☑を付けてください。

- 常時接近可能
 一時的(期間等を限定して)接近可能
 接近できない
 柵等で接近が不可能
 木造の覆屋内に納められている
 非木造の覆屋内に納められている
 展示物等として木造の博物館等に収蔵
 展示物等として非木造の博物館等に収蔵

(3) 建造物が所在する敷地の状況(周辺地区の状況)

建造物が所在する敷地の開放状況について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 常時開放 (例:いつも自由に敷地に入れる場合)
- 一時的開放 (例:時間・期間を限定して敷地に入れる場合)
- 開放していない

③延焼

(1) 建造物の周辺状況

建造物の周辺の状況について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 木造密集(伝統的建造物群保存地区やその他の保存地区の内部)
- 木造密集(上記以外)
- 不燃化が進められている密集地域
- 上記以外

その他の保存地区とは、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」による歴史的風致維持向上計画に基づく重点区域、景観法に基づく景観地区等や、条例に基づく美観地区、景観形成地区などをさします。分からない場合は市町村の担当者に聞いてください。

(2) 建造物の周辺状況(近接建物について)

建造物に近接して建物がある場合、当てはまるものに☑を付けてください。なお近接する建物とは、約30m程度の範囲を言います。

- 木造
- 非木造
- 木造・非木造両方
- 不明

④飛び火

(1) 屋根材

建造物の屋根材について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 可燃性の屋根材 (例:茅、檜皮、こけら等の植物性屋根材)
- 不燃性の屋根材(例:瓦、金属板等)
- 不燃性の屋根材で葺かれているが、植物性屋根材に復原される可能性あり
(例:茅葺を鉄板で覆っている場合)

一部でも可燃性の屋根材が用いられている場合は「可燃性の屋根材」に☑を付けてください。

⑤落雷

(1) 当該地域周辺での落雷被害

建造物が所在する敷地、または周辺での落雷被害はありましたか。

- ある
- なし
- 不明

わかる範囲でお答えください。なお、目安として近年3年以内に所在する市町村に落雷があった場合を「ある」としてください。

(2) 避雷設備

建造物に避雷設備はありますか。

- ある
- なし
- 設置に必要なし

避雷設備には建造物に直接取り付けられた避雷設備と、建造物が所在する敷地内に柱を建ててこれに避雷針を取り付け(独立避雷針)てその周囲を保護するものがあります。

⑥過去の火災

(1) 当該建造物の周辺での火災の発生

過去において、周辺で火災が発生したか。

- ある
 なし
 不明

わかる範囲でお答えください。なお、目安として近年5ヶ年以内に火災があった場合を「ある」としてください。

(2) 当該建造物での火災の発生

過去において、(ボヤも含めて)火災があったか。「ある」とした場合は、その対応について記載ください。

- ある ()
 なし
 不明

わかる範囲でお答えください。なお、目安として近年5ヶ年以内に火災があった場合を「ある」としてください。

2. その他

その他は、建造物が博物館などの展示施設、本堂或いは覆屋等に納められている場合にお答え下さい。

(1) 収蔵施設の種類の

建造物の収蔵施設の種類の種類について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 博物館などの展示施設に収蔵されている
 本堂や覆屋等の中に収められている
 その他 ()

(2) 収蔵施設の文化財指定

建造物が収蔵されている施設の文化財指定について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 国指定重要文化財(建造物)
 地方指定文化財(建造物)
 未指定
 その他 ()

(3) 収蔵施設の構造

収蔵施設の構造について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 木造
 非木造

(4) 収蔵施設の屋根材

収蔵施設の屋根材で、当てはまるものに☑を付けてください。

- 可燃性屋根材(茅、檜皮、こけら等の植物性屋根材)
 不燃性屋根材(瓦、金属板等)

II. 警備体制

1. 防犯設備

建造物に対する不審者等を警戒するための防犯設備を設置していますか。

- ある (具体例:)
 なし

防犯設備には監視カメラ、センサー等があたりはります。

2. 警備要員

建造物の警備要員について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 常時(24時間体制)いる
- 開放時間にはいる
- 警備保障会社等に委託している
- 警備要員がない

警備要員とは緊急時に対応できる者とし、寺や神社の職員や民家の所有者等も含めます。また常時いるとは建造物を常時警備できる体制でいることも含めます。

3. (警備要員がない場合の見廻りの体制

上記が「警備要員がない」の場合、建造物の見廻りの体制について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 所有者等が同敷地内或いは近くに居住
- 昼夜等時間を定めて巡視
- 昼間(或いは夜間のみ)巡視
- その他

4. 夜間及び昼間の監視体制

昼間及び夜間における火災等の緊急時に対応できる人数をお答えください。

昼間 【 人】
夜間 【 人】

Ⅲ. 訓練の体制

1. 訓練の回数

消防訓練を1年間に行っている回数をお答えください。

【 回/年 】

2. 想定されている災害

(1) 想定される火災訓練について

訓練の際に想定している火災について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 通常火災(失火等)
- 放火火災
- その他(具体例:)

(2) 想定される訓練の出火元について

訓練の際に想定している火災の出火元について、当てはまるものに☑を付けてください。

- 屋内からの火災
- 屋外からの火災
- 両方
- 特に定めていない

3. 自衛消防組織

自衛消防組織はありますか。

- ある
- なし

IV. 想定される火災の要因

1. 所有者が危惧する火災の主要因

所有者が懸念する火災の主要因について、当てはまるものに☑をつけてください。複数回答可

- 放火
- 周囲からの延焼
- 失火
- 落雷
- 修理中の火災
- その他()

V. その他の文化財

1. 重要文化財(美術工芸品)

国指定の重要文化財(美術工芸品)が指定建造物内部にありますか。

- ある
- なし

2. 史跡、名勝、天然記念物

国指定の史跡、名勝、天然記念物の敷地内に指定建造物がありますか。

- ある
- なし

3. 重要有形民俗文化財

国指定の重要有形民俗文化財が近くにありますか。

- ある
- なし

7. 水利設備

(1) 防火水槽

重要文化財(建造物)専用の防火水槽はありますか。

- ある
 なし

(2) その他の防火水槽

重要文化財(建造物)専用以外で、重要文化財(建造物)に利用可能な防火水槽(公設の防火水槽等)はありますか。

- ある
 なし

(3) 自然水利

重要文化財(建造物)に利用可能な自然水利(河川、池等)はありますか。

- ある
 なし

II. 消火活動の困難性

1. 消防車等の接近状況

緊急時に消防車等が建造物に接近できるか、当てはまるものに☑をしてください。

- 周辺に空地がないために接近が困難
 道路が狭隘で消防車両の接近が困難(小型車のみしか接近できない)
 消火活動に適した消防水利(消火栓又は防火水槽)まで接近できる

2. 消防署からの距離

建造物の所在する場所から消防署までの距離並びに普段の交通事情の到達時間についてお答えください。

約 m
約 分

3. 消防分団からの距離

建造物の所在する場所から消防分団までの距離についてお答えください。

約 m
約 分

III. 地域防災活動の現状

初期消火や避難誘導を支援する、自衛消防団等の活動状況について☑をつけてください。

1. 近隣住民の協力

- あり
 なし

2. 自衛防災組織

- あり
 なし

3. ボランティア組織

- あり
 なし

その他

I. 防火、防犯対策を行うに当たって望まれること(自由記述)

Blank area for free text response under section I.

II. 独自で特別に行っている対策(自由記述)

Blank area for free text response under section II.